

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	イー・アス
住 所	大阪府高槻市大畑町3-2ワタナベビル2階
電話番号	072-668-7143

事業所番号	2710902145
管理者名	平山 之茂
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		10 点
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		10 点
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		10 点
就業規則等で定めている		
小計（注1）		点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15 点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		15 点
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		15 点
小計（注2）		点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
165 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 6 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	15,882	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,314	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.8	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（ 4 月～ 3 月）

前々々年度（ 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,247,437	円	利用者に支払った賃金総額	10,858,752	円	収支	388,685	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	17,569,248	円	利用者に支払った賃金総額	17,383,689	円	収支	185,559	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（ 6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	17,713,071	円	利用者に支払った賃金総額	17,659,635	円	収支	53,436	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

(III) 多様な働き方

前年度（ 6 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☐
-----------------------	--------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（ 6 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	精神障がい特性理解と就労支援のポイント
研修講師	池上 聡子さん
実施日・受講者数	10月18日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	アンサンブルグループ研修会
実施日	7月26日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	株式会社ダイキンサンライズ摂津
実施日/参加者数	3月11日 2人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	たかつきビジネス交流会
主催者名	高槻市商工会議所
日時	3月6日
内容	自社の商品・サービスのPR商談会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	令和4年4月1日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	入社時に説明、また年に一度ミーティング時

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	イー・アス	事業所番号	2710902145
住 所	大阪府高槻市大畑町 3 番 2 号ワタナベビル 2 階	管理者名	平山 之茂
電話番号	072-668-7143	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 【活動場所】 株式会社 中野農園 【実施日程】 2022年 5月1日～ 【施設外就労の概要】 農作物生産における諸作業 【生産活動】 苗入り容器並べ置き/容器の洗浄作業/出荷商品箱詰め 【利用者数】 3名	<活動の様子>  出荷商品の箱詰め作業  育苗ポットの洗浄作業 
<目的> 【地域連携活動のねらい】 農福連携にご理解をいただいている企業様での業務に携わりA型事業所としての社会的役割の向上を目指す。 【対象者にとってのメリット】 農作業で身体を動かす作業現場で働くことで、体力の向上や就労能力を引き上げる。また、一般就労に近い形で就労することにより対象者の就労に対する自信に繋げる。	
<成果> 【得られた成果】 利用者の特性に沿った業務内容への配置をさせていただき、人々の多い環境が苦手な利用者は広い農園での就労を好まれており、利用者にとってもいい環境の中就労が継続することができている。 【課題点】 個人能力の違いによる生産活動量が安定しない	

連携先の企業等の意見または評価

日々、意欲的に作業に取り組んでいる就労者を配置していただき助かっております。 体力が必要な作業内容ですが、スムーズに進めてもらっているため、会社全体にとっても良いサイクルが生じています。 人材不足が国内の生産現場の問題点である現在において、障害があっても仕事ができることを直接証明していただき、地域の一企業として農福連携で社会的役割を果たしていきたいと考えています。 指導員が間に入っている点においても、福祉面での対応を補っていただき、弊社としても安心感があります。 今後もこのような形での連携を続けていきたいと考えています。			
連携先企業名	株式会社 中野農園	担当者名	長尾 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	イー・アス
住 所	高槻市大畑町3-2ワタナベビル2階
電話番号	072-668-7143

事業所番号	2710902145
管理者名	平山 之茂
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 【活動場所】 イー・アス事業所 【実施日程】 6月 【知識・能力向上に係る実施の概要】 社会人としての整容マナーを学ぶ 【利用者数】 6名	<活動の様子>  資生堂さんの化粧品を使用させてもらい、実際に下地から化粧を行った。
<目的> 【知識・能力向上に係る実施のねらい】一般就職を目指している利用者に社会人としてのエチケットについて、メイクを通じた体感実習を行い身だしなみを学ぶ。 【利用者にとってのメリット】就労先での清潔な環境のもと衛生面または整容の大切さを配慮する意識付けができる。	
<成果> 【実施した結果】 職場において他人から見られる第一印象の大切さを意識付けができたように感じた。 【得られた成果】 社会人としての身だしなみを実感できた 【課題点】 最低限の整容を継続的に意識付けできるよう日常の就労時においてもお声掛けなど随時取り組む必要がある。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】 福祉施設における利用者様は整容についての講座や、本人が向き合う機会が少ない為化粧品の正しい選び方や利用の仕方をお伝えする事から整容に関心を持って頂きたい。 【今後の連携強化に向けた課題】 女性での身だしなみの講義は抵抗なく受け入れられるが、男性は整容の助言を受け入れがたい方が多いため今後は男性の講座の開催を積極的に取り組む必要がある	
連携先企業（担当者）	資生堂 ソーシャルエリアパートナー 吉川幸子様 石田知子様

利用者からの意見・評価

【参加した利用者からの意見】 身だしなみを整えることで内面から意識が変わりそうです。 (メイクアップ体験後)いつもの自分と雰囲気が全然違うのでこれから帰宅した時の、家族の反応が楽しみです。
--